

## 新潟大学第34回全学FD

### 金沢大学附属図書館における 学習支援の取り組み

2015年2月18(水)  
新潟大学附属図書館ライブラリーホール  
金沢大学 大学教育開発・支援センター  
特任助教 久保田進一

## 金沢大学附属図書館における学習支援の取り組み

### 本日の内容

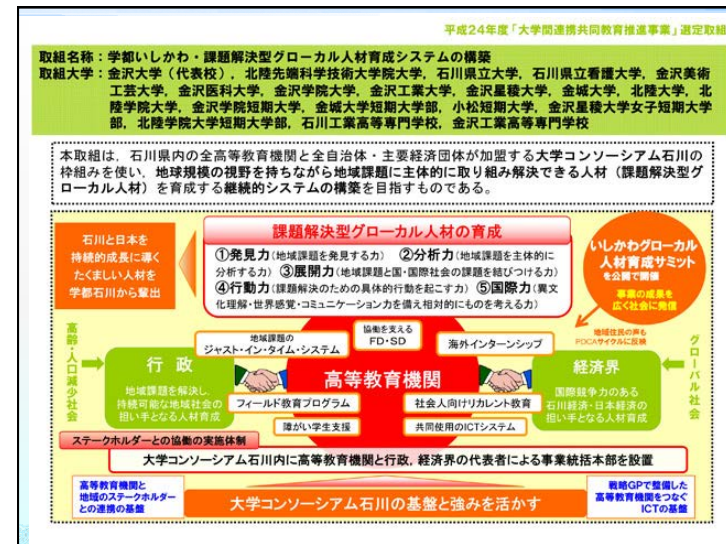
- ◆ 1. 大学間連携共同教育推進事業とは？
- ◆ 2. ICTシステム活用促進・開発グループの取組
- ◆ 3. 図書館機能強化への取組
  - ◆ 3.1. ビブリアバトルの開催
  - ◆ 3.2. 学生支援相談所の開設
  - ◆ 3.3. LA(ラーニングアドバイザー)の導入
- ◆ 4. オンライン共同日本語ライティングセンターへの取組

## 1. 大学間連携共同教育推進事業とは？

### 概要

本取組は、石川県内の全高等教育機関と県内全自治体・主要企業団体が加盟する大学コンソーシアム石川の枠組みを使い、地球規模の視野を持ちながら地域課題に主体的に取り組む解決できる人材(課題解決型グローバル人材)を育成する継続的システムの構築を目指すものです。

課題解決型グローバル人材に必要な5つの力(発見力、分析力、展開力、行動力、国際力)の養成のため、地域ステークホルダーと連携・協働した「ジャストインタイムシステム」「海外インターンシップ」等を行い、既存の授業・体験の学修等を組み合わせた教育プログラムを開発し、人材を輩出。輩出人材の定着のための社会人向けリカレント教育プログラムも開発。さらに連携・協働を下支えする「FD・SD共同プロジェクト」等を行い、高等教育機関の機能分化・相互補完に基づく学生・教職員支援ネットワークを強化します。2年目からはPDCAサイクルの牽引役となる「いしかわ人材育成サミット」を開催します。



## 1. 大学間連携共同教育推進事業とは？

### 5つのグループ

- ・企業連携グループ
- ・地域連携グループ
- ・障がい学生等支援グループ
- ・FD・SD共同プロジェクトグループ
- ・ICTシステム活用促進・開発グループ

## 2. ICTシステム活用促進・開発グループの取組

### 活動内容

ICTシステム活用促進・開発グループでは、特任助教を中心に各高等教育機関の状況調査を行い、「オンライン共同日本語ライティングセンター」「大学図書館機能強化連携プログラム」などの具体的な学生支援策策定に反映させていく。

## 2. ICTシステム活用促進・開発グループの取組

### ICTシステム担当サブグループ

#### 活動内容

・大学コンソーシアム石川(UCI)が運用している加盟機関の連携・協働の基礎ツールとなるICTシステムの活用促進・開発事業。

・UCIポータルの中にMoodle(学習管理システムのオープンソースソフト)とMahara(ポートフォリオシステムのオープンソースソフト)を構築。

## 2. ICTシステム活用促進・開発グループの取組

### 図書館機能強化担当サブグループ

#### 活動内容

・オンラインによる添削指導で日本語の文章力向上を図る「オンライン共同日本語ライティングセンター」を金沢大学と大学コンソーシアム石川のポータル上に開設。

・ライティング指導のために「クリティカル・シンキングI」「クリティカル・シンキングII」「アカデミック・ライティング入門」「新聞を使つてのライティング」という授業を開講。

・自学自習の場であり、かつ学習支援の拠点として図書館に学習支援相談所を開設。

### 3. 図書館機能強化への取組

#### 3.1. ビブリオバトルの開催

##### ◆ ビブリオバトルとは

- (1)発表者(バトラー)が、自分で読んで面白いと思った本1冊を持って集まる。
- (2)順番に一人5分間で本を紹介。
- (3)紹介された本について、参加者全員で2～3分間ディスカッションをする。
- (4)皆で一番読みたくなった本に投票し、最多票を集めた本を「チャンプ本」として決定。

### 3. 図書館機能強化への取組

#### 3.1. ビブリオバトルの開催

##### ◆ ビブリオバトルのねらい

- ・学生に本に触れる機会を増やすとともに、人前で5分間、話すというプレゼン能力を養う。
- ・短い時間でのディスカッションにおいて、聴講者も的確な質問を行い、発表者も的確な回答ができるように議論する力を養う。
- ・それによって、参加者に本の内容が共有でき、お互いの理解を深め、コミュニケーション能力を培う。

### 3. 図書館機能強化への取組

#### 3.1. ビブリオバトルの開催

##### ◆ 今年度(2014年度)のビブリオバトル

- ・金沢大学附属図書館ビブリオバトル  
前期3回(5月、6月、7月)後期3回(10月、11月、12月)
- ・金沢大学ランチョン・ビブリオバトル 10月に2回
- ・ビブリオバトル北陸大会(全国大会予選)  
10月19日(日) 四高記念文化交流館
- ・ビブリオバトル全国大会2014  
12月14日(日) 京都大学時計台ホール



### 3. 図書館機能強化への取組

#### 3.1. ビブリオバトルの開催



### 3. 図書館機能強化への取組

#### 3.1. ビブリオバトルの開催

- ◆ 今年度(2014年度)のビブリオバトル
  - ・小松短期大学でビブリオバトルを開催
    - 6月25日(水) ビブリオバトル説明会
    - 7月2日(水) クラス代表決戦
    - 7月16日(水) 学年代表決戦
  - ・石川県立大学・金沢大学合同ビブリオバトル
    - 12月20日(日) 金沢大学附属図書館

人を通して本を知る。本を通して人を知る。  
**石川県立大学・金沢大学  
合同ビブリオバトル開催**  
場所: 金沢大学 中央図書館 ブックラウンジ  
**● 12月20日(土) 10:00集合  
開始10:30～**

◆発表者(トラ)応募, 問い合わせ先  
・大学教育開発・支援センター  
青野 sono@staff.kanazawa-u.ac.jp  
久保田 shinkubota@staff.kanazawa-u.ac.jp  
●聴衆(バトル観戦)には, どなたでも, ご自由に参加いただけます。

**◆ビブリオバトルのルール**  
1. 発表者が自分で読んで面白かった本を持って来る。  
2. 聴衆に1人1分間で本を紹介する。  
3. 紹介された本について, 皆で2～3分間ディスカッションをする。  
4. 皆で一番面白かった本に投票し, チャンプ本を決める。

※ 金沢大学大学教育開発・支援センター  
本イベントは文部科学省大学教育振興費助成事業「学際・学際連携推進  
グローバル人材育成システム構築」の一環です

### 3. 図書館機能強化への取組

#### 3.2. 学生支援相談所の開設

- ◆ 学生の学習を支援するために相談所を図書館内に開設。
- ◆ 昨年度は火・木の週2回(午後4時～午後6時)に開設。(この時間帯に相談員が常駐)
- ◆ 今年度は火の週1回(午後4時～午後6時)に開設。(この時間帯に相談員が常駐)
- ◆ 都合の悪い学生には, 事前に連絡をもらえれば, 時間を合わせることで対応。



### 3. 図書館機能強化への取組

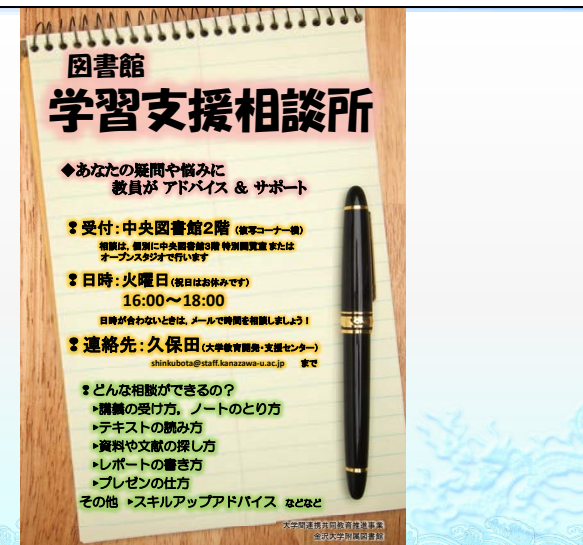
#### 3.2. 学生支援相談所の開設

##### ◆ 相談内容

講義ノートの取り方、講義の聞き方、テキストの読み方、資料や文献の探し方、レポートの書き方、プレゼンテーションの仕方など。

##### ◆ これまでの相談内容

- ・講義ノートの取り方および講義の聞き方について
- ・ネット(CiNii)による論文の探し方について
- ・レポートの書き方について
- ・留学生からの日本語論文の書き方について、など。



### 3. 図書館機能強化への取組

#### 3.2. 学生支援相談所の開設



### 3. 図書館機能強化への取組

#### 3.3. LA(ラーニングアドバイザー)の導入

- ◆ 目的
- ◆ 現在の大学生の学習時間は文科省の定める単位認定時間とは、大きく異なっている。実際の学習時間を単位認定に必要とされる本来の学習時間にまで引き上げるためには、予習復習に時間を当てなければならない。
- ◆ 連携事業の一環として図書館の機能強化を推進するために、ラーニング・アドバイザーを設置し、学生の主体的な学習を支援することが目的。

### 3. 図書館機能強化への取組

#### 3.3. LA(ラーニングアドバイザー)の導入

- ◆ 業務内容
- ◆ ①ライティング, ②レポート作成, ③演習発表のリハーサル, ④ミニレクチャー(ミニ講義), ⑤資料調査, ⑥プレゼンテーション技術, ⑦文献解読等の添削及び指導業務, ⑧レポートの添削(赤ペンチェック), ⑨留学生の日本語指導, ⑩留学生による英文指導など。

◀ 附属図書館からのお知らせ ▶

**平成26年度  
ラーニング・アドバイザー(LA)制度を  
利用する授業を募集します**

附属図書館では、学士課程授業の予習復習を支援するため、ラーニング・アドバイザー(LA)制度を実施しています。  
LAは院生、学類3～4年生から採用しています。

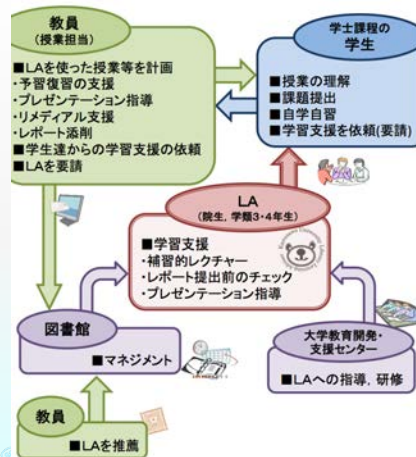
**■教員がLAを依頼するいくつかの選定例**  
 (1) 学生に補完的なレクチャーを受講させたい場合。  
 (2) 学生に課題やレポートを課す際に、事前/事後にその内容をチェックさせたい場合。  
 (3) プレゼンテーションの指導。  
 (4) 学生たち自身から学習支援の依頼があった場合。

**■LAを用いた形態の授業を計画**  
 LAへの活動内容、授業のあらまし等を図書館までお知らせください。  
 ※LAの採用手続きには2週間ほど要しますので、余裕をもってお申し込みください。  
 ※LAの採用やスケジュール管理などは図書館が行います。

◆申込み(形式)などの詳細は、図書館ホームページからご覧いただけます。  
 ◆お問い合わせ先  
 大学教育開発・支援センター (Eメール: [univshota@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:univshota@staff.kanazawa-u.ac.jp))  
 附属図書館 (Eメール: [lib@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:lib@staff.kanazawa-u.ac.jp))

(2014.2.25)

### 3. 図書館機能強化への取組



### 4. オンライン共同日本語ライティングセンターへの取組

#### (1) これまでの取組

・金沢大学での授業で「クリティカル・シンキングI」・「クリティカル・シンキングII」・「アカデミック・ライティング入門」・「新聞を使つてのライティング」を通して、ライティングの添削および採点を試みる。

・その際に、大学院生をTA(ティーチング・アシスタント)として使い、ライティングセンターを構築する足がかりとする。

※この授業はシティカレッジの授業科目でもある。

#### 4. オンライン共同日本語ライティングセンターへの取組

##### (2)これまでの取組

・昨年度は小松短期大学の学生について、1コマ(90分)の授業時間を使って、ライティングの講義を行い、その後、読書感想文(課題図書は『コマツ創業の人 竹内明太郎伝』)を書いて提出。その際、オンライン(ネット)を使って提出。その後、添削をしてオンライン(ネット)を使って返却。

・今年度は金沢学院短期大学の学生について、1コマ(90分)の授業時間を使って、ライティングの講義を行い、その後、読書感想文(本は各自の選択)を書いて提出。その際、オンライン(ネット)を使って提出。その後、添削をしてオンライン(ネット)を使って返却。

#### 4. オンライン共同日本語ライティングセンターへの取組

##### (3)これまでの取組

◆ 6月にレポート書き方講座を開催

◆ 受講生が当初の思惑よりも多くの学生が参加。想定外の結果となる。ライティングにかなりの需要があることを認識。

#### レポート書き方講座 開催

総合教育講義棟 A1講義室

● 6月5日(木) 12:10~12:40

座席みです

そろそろ各授業で中間レポートが課題として出される時期になってきました。レポートをどうやって書いていいのか頭を悩ませている人は、ぜひ来てください。

- ・レポートの書き方を教えます
- ・レポートを書くいいヒントがもらえます
- ・成績アップにもつながります

◆問い合わせ先  
・大学教育開発・支援センター  
久保田 進一  
ehinkubota@staff.kanazawa-u.ac.jp

#### 4. オンライン共同日本語ライティングセンターへの取組

##### (4)これまでの取組

・9月に「図書館機能強化プログラム」講演会を開催

・『論文の教室』の著者による大学職員のための作成指導法講座」

名古屋大学大学院情報科学研究科社会システム情報学専攻教授

戸田山和久先生

大学間連携共同教育推進事業  
学際・学際・国際化推進センターから人材育成システムの構築  
『国際化推進プログラム』講演会

『論文の教室』の著者による  
**大学職員のための  
レポート作成指導法講座**

**戸田山 和久 氏**  
名古屋大学大学院情報科学研究科社会システム情報学専攻教授  
『論文の教室』の著者による 大学職員のための  
レポート作成指導法講座

**久保田 進一 氏**  
金沢大学大学院開発・支援センター特任助教  
金沢大学オンラインライティングセンターについて

**平成26年9月25日(木)**  
15:00～17:00  
金沢大学附属図書館中央図書AV室  
(石川県金沢市金沢南)

この講演会では、『レポート作成指導法』の著者(戸田山和久氏)と、『論文の教室』の著者(久保田進一氏)を講師としてお招きし、大学教育におけるレポート作成の意義、指導にあたっての留意点と報告、書籍の活用方法についてお話しします。先生との質疑応答にも応じます。その際、参加費として印刷代金100円(当日受付)を徴収いたします。

14:30- 受付  
15:00- 開会 附属図書館 大蔵 啓  
15:05- 講演 戸田山 和久 氏  
15:10- 休憩  
15:15- 講演 久保田 進一 氏  
15:55- 閉会 大学教育開発・支援センター 長 尾 裕 子 氏

**申込方法** **定員60名**  
**参加費無料** **お申し込み先**  
参加ご希望の方は、  
電話・FAX・電子メール・Webにて  
ご応募ください。お申し込みの上  
お申し込みいたします。

お問い合わせ先  
金沢大学附属図書館(情報技術と図書館教育課)  
TEL: 076-264-5216 FAX: 076-234-4550  
E-mail: [library@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:library@staff.kanazawa-u.ac.jp)  
Web: [http://library.kanazawa-u.ac.jp/page\\_04-203](http://library.kanazawa-u.ac.jp/page_04-203)

#### 4. オンライン共同日本語ライティングセンターへの取組

##### (5)これまでの取組

- ◆ 11月に金沢大学のポータル上にオンライン共同日本語ライティングセンターを開設。
- ◆ 当初はほとんど利用なし。しかし、2月に入ってから(レポート締切直前になってから)利用者が急増。

##### ◆ 今後の課題

時期に波がある。その際、添削員をどう確保できるか？

**オンライン共同日本語  
ライティングセンター  
スタート！**  
レポート・論文についてのアドバイス&サポート  
Writing is Thinking.

※利用の仕方  
アセスポータル上の「時間割」をクリックすると、そのなかに「特別コース」があります。その「特別コース」のなかに「オンライン共同日本語ライティングセンター」があります。そこから入って、相談内容を選んでください。  
また、火曜日の午後4時～午後8時に、附属図書館中央図書で学習支援相談所を開館しておりますので、直接相談しに来てもらっても構いません。

※連絡先: 久保田(大学教育開発・支援センター)  
[shinkubota@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:shinkubota@staff.kanazawa-u.ac.jp) まで

どんなとき相談ができるの？  
▶レポートの書き方がわからないとき  
▶レポート・論文の構想が浮かばないとき  
▶レポート・論文を見てもらいたいとき  
▶レポートをもっといいものに仕上げたいとき  
などなど

どの段階でも相談可能です。  
書いてないときから書き終わったときまで。

宝島科学も大学間連携共同教育推進事業  
学際・学際・国際化推進センターから人材育成システムの構築

御清聴、ありがとうございました。

- ◆ ご連絡はこちらまで
- ◆ 金沢大学 大学教育開発・支援センター
- ◆ 特任助教 久保田進一

◆ [shinkubota@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:shinkubota@staff.kanazawa-u.ac.jp)